

# 経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	一般財団法人鳥取市中小企業勤労者福祉サービスセンター
-----	----------------------------

様式2

現状と課題	<p>当センターの運営の根幹である会員増強については、過去3年間のコロナ感染症と世界の諸情勢の変動による急激な物価高騰等の影響により、企業の収益悪化、倒産・廃業が増加し会員数の減少傾向が続いております。令和5年度は、コロナ感染症の位置づけも2類から5類に引き下げられさまざまな制約が緩和されることになり観光事業を中心に企業マインドも徐々に上がっていくことが予想されています。特に中小企業の人員不足も深刻となってきており、福利厚生制度を担う当センターの役割もますます大きくなってまいります。未加入事業所を明確化し、ひまわりニュース等を活用し情報提供を行いながら「期」を捉えた勧誘活動に積極的に取り組んでまいります。また、福利厚生事業においても、これまで対面型、集合型の事業が制限されながらも会員ニーズを意識した事業に取り組んでまいりましたが、今後におきましては集合型事業(余暇・スポーツ・自己啓発)も増やし、サービスの質を維持しながら、経費削減を図りつつ魅力ある事業を進めてまいります。</p>			
経営方針 (令和7年度目標)	会員事業所数 800事業所 会員人数 7,700人	年度当初会員事業所数 777事業所 年度当初会員人数 7,414人	事務局員 4名体制の構築 業務委託営業推進職員2名体制の構築	年度当初人数 2名 年度当初人数 1名

視点	7年度目標 (期間内の最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント				
			取組内容	目標値	取組状況	実績値						
経営改革 (財務面での長期見直し)	会員目標数達成と財務強化	5年度	業務委託社員の採用・育成	年度内2名体制	業務委託社員の採用につき、元保険営業社員などに声掛けを行った。	営業委託社員1名採用(R5.5)	1. 営業推進にかかる業務委託社員2名体制は実現できず、引き続き採用活動を続けていながら現存委託社員を育成していく。 2. 年度途中に管内事業所(約3,800)を既加入・未加入に分類し見える化を図ったが活用不十分。年始保有を2事業所、25会員を割り込んだ。リストは引き続き令和6年度も有効活用していく。業種を絞ったポストメンタリングによる成約2事業所、次年度への結核が4事業所。今後においても左記取り組みを継続し新規会員開拓に取り組む。又一括脱退事業所の脱退理由の把握と防止対応が必要。 3. 将来のための目的性積立金を計上した。次年度以降も継続的に実施していく。	新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に引き下げられたとはいえ、物価高騰の影響等でまだまだ厳しい状況下だと考えられる。管理費等の経費削減やサービスの展開などと同時に、営業の体制を整え引き続き会員数の維持・増加に向けて取り組んでいただきたい。また、積立についても計画的に取り組んでいただきたい。				
			会員事業所の開拓と会員数の増加	年度末会員事業所 780事業所 年度末会員数 7,500人	未加入事業所の見える化。業種(医療・福祉・組合・団体)を絞ったピンポイントでのポストメンタリングによるPRを実施。	実績値(令和5年度末保有) 775会員事業所・7,389会員						
			今後予測されるHP、システム改訂に係る費用、周年記念事業費用等の積立に着手	目標積立額 200万	理事会承認を前提に財務規定を改定し目的性積立金計上に取り組んだ。	令和5年度に176.6万円を計上した。						
		6年度	業務委託社員の採用・育成	2名体制の維持								
			会員事業所の開拓と会員数の増加	年度末会員事業所 790事業所 年度末会員数 7,600人								
			今後予測されるHP、システム改訂に係る費用、周年記念事業費用等の積立	目標積立額 累計400万								
		7年度	業務委託社員の採用・育成	2名体制の維持								
			会員事業所の開拓と会員数の増加	年度末会員事業所 800事業所 年度末会員数 7,700人								
			今後予測されるHP、システム改訂に係る費用、周年記念事業費用等の積立	目標積立額 累計600万								
		組織改革 (組織見直し、人材育成)	必要陣員の確保と人材の育成	5年度	事務局員の適正人員の確保(事務局長も含む)	事務局員1名確保			ハローワークを活用し事務局長・事務職員1名の採用に取り組んだ。	令和5年1月に派遣社員(事務職)採用。事務局長の採用は不調に終わった。	引き続き事務局長の採用に向けて採用活動を続けていく。	ジョブローテーションや研修参加による職員のスキルアップは、業務効率の改善が図られる有効な取り組みであり、人材育成にもつながる。引き続き、より良い組織作りを考え、取り組みに当たっていただきたい。
					ジョブローテーションを行い事務体制の強化を図る	最低1職務以上のローテを行う			令和6年1月より事務職員(派遣)を採用しジョブローテーションに取り組んだ。	事務職員(派遣)の採用によって部分的ではあるが実施できた。	令和6年5月よりパート職員1名を採用したことで更にジョブローテーションを進めていく。	
					関連団体が実施する実務担当者研修に参加し能力の向上に務める。	年1回以上の事務研修への参加			関連団体主催の事務研修に参加できるよう調整した。	全福センターを含む関連団体が主催した研修会に参加した。	計画通り参加できた。DX化(会員サービス向上)に関連する研修があれば参加したい。	
6年度	事務局員の適正人員の確保と育成(働きやすい環境の造成)			事務局員の継続雇用								
	ジョブローテーションを行い事務体制の強化を図る			最低1職務以上のローテを行う								
	関連団体が実施する実務担当者研修に参加し能力の向上に務める。			年1回以上の事務研修への参加								
7年度	事務局員の適正人員の確保と育成(働きやすい環境の造成)			事務局員の継続雇用								
	ジョブローテーションを行い事務体制の強化を図る			最低1職務以上のローテを行う								
	関連団体が実施する実務担当者研修に参加し能力の向上に務める。			年1回以上の事務研修への参加								
公益増進 (顧客サービスの向上、社会貢献)	DX化による会員サービスの向上	5年度	健康増進事業としてスポーツ大会(eスポーツ含む)の企画、職場内スポーツ大会実施への助成。	年1団体以上のスポーツ大会(eスポーツ含む)の助成	山陰地区共同eスポーツ大会の開催を計画。中四国共同ボウリング大会を計画。	計画通り実施。	eスポーツ大会においては参加人数、実施費用など対費用効果の検証が必要。 生活応援型の企画は概ね予定通り実施できた。今後は社員教育にかかる助成にも注力し事業主への還元率を高め加入促進に繋げる。 今後も会員の利便性、事務の効率化に向けて費用負担を考慮しながらシステム改善に取り組んでいく。	新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に引き下げられ、対面・集合型の事業も実施しやすくなったことでより幅広いサービスの提供が可能になった。引き続き会員のニーズに沿った事業を検討し、取り組んでいただきたい。また、システム導入による会員の利便性向上・事務の効率化についても効果の検証をしながら引き続き取り組んでいただきたい。				
			会員が男女を問わず参加できる、魅力ある事業を企画し利用者数の拡大を図る。	飲食店応援割引企画等年4回実施	全会員が利用しやすい割引制度企画の当選者拡大を図った。インフルエンザ予防接種助成を抽選扱いから接種者全員助成とするなど利用者拡大を図った。	結果として、前年より利用者が、延約300名増加した。						
			各種事業の助成金支払システムの改善に着手	ユニテックのバージョンアップシステム(コネット)の採用を決定。	令和6年7月に新システムに移行予定。							
		6年度	健康増進事業としてスポーツ大会(eスポーツ含む)の企画、職場内スポーツ大会実施への助成。	年1団体以上のスポーツ大会(eスポーツ含む)の助成								
			会員が男女を問わず参加できる、魅力ある事業を企画し利用者数の拡大を図る。	飲食店応援割引企画等年4回実施								
			会員に対する各種事業の助成金支払システム及び利便性の改善を図る	HPのリニューアルを目指す								
		7年度	健康増進事業としてスポーツ大会(eスポーツ含む)の企画、職場内スポーツ大会実施への助成。	年1団体以上のスポーツ大会(eスポーツ含む)の助成								
			会員が男女を問わず参加できる、魅力ある事業を企画し利用者数の拡大を図る。	飲食店応援割引企画等年4回実施								
			会員に対する各種事業の助成金支払システム及び利便性の改善を図る									